



■アクセス



■沿革

- 1966 北九州市小倉北区に  
高坊津田内科医院(18床)開設
- 1973 高坊津田内科病院(57床)に変更開設
- 1984 60床に病床数変更
- 1985 在宅酸素療法認可
- 1986 医療法人社団恵友会設立
- 1994 恵友会訪問看護ステーション開設
- 1997 病院外来部門改装 CTスキャナ導入
- 1998 津田 徹 副院長就任
- 1999 病院名称を津田内科病院に変更
- 2000 病院管理者 津田 穂より津田 徹に変更  
(同時に院長就任)  
デイケアほっとホーム霧ヶ丘開設  
恵友会呼吸とリハビリクリニック開設  
恵友会ヘルパーステーション開設  
恵友会ケアプランステーション開設
- 2001 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設  
睡眠呼吸センター開設  
包括的呼吸リハビリテーション入院開始
- 2002 日本医療機能評価機構 一般病院A認定  
日本呼吸器学会認定施設
- 2005 日本睡眠学会認定施設  
名称を「霧ヶ丘 つだ病院」と変更し新築移転

つだ病院のごあんない



医療法人恵友会  
霧ヶ丘 つだ病院 デイケアほっとホーム霧ヶ丘  
〒802-0052 北九州市小倉北区霧ヶ丘3丁目9-20  
Tel.093-921-0438 Fax.093-921-5988  
URL.<http://www.k-you.or.jp/>

医療法人恵友会  
霧ヶ丘 つだ病院  
デイケアほっとホーム霧ヶ丘

やさしさにつつまれて



院長 津田 徹

Tohru Tsuda, MD, PhD

1966年に内科医院として開設して以来、呼吸器の病気を軸として地域の内科のかかりつけ医として、お世話になって参りました。

霧ヶ丘の地に新築移転し、足立山を背景に四季を感じながら、穏やかに治療できる環境が整い、病院の中心にはひかりが燦々と差込むようになりました。

満足いただける医療は、ひとりの医師だけでなく、いろいろな職種の参加があって初めて実現します。これからも、全ての分野の職員が参加するチーム医療を「やさしさ」を持って、病気の予防から治療、在宅での療養まで支えたいと考えております。

私たちの誓い

- つ 常に医療の質の向上を目指します。
- た 第一に患者さんの意志を尊重した医療を行います。
- な なんでも相談できる地域に開かれた病院を目指します。
- い いつでも笑顔を忘れない真心のサービス提供に努めます。
- か 患者さんが安心できるような明るい職場づくりを目指します。



5F

- 屋上庭園



4F

- 呼吸リハビリテーションセンター
- 呼吸リハビリ教室
- 展望浴室



3F

- 睡眠呼吸センター
- 病室 31~35 301~316



2F

- 病室 21~25 201~226
- 呼吸ケアユニット RCU



1F

- 総合受付 / 外来診察室
- CPAP再来受付
- 内視鏡室
- CT室



診療科目	内科	● 内科 ● 呼吸器科 ● 循環器科 ● 消化器科 ● リハビリテーション科 ● 歯科(睡眠時無呼吸)
病床数	一般	69床 (常勤医師4名 非常勤医師12名)

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- 日本睡眠学会認定施設
- 日本医療機能評価機構一般病院[A]

## 光と空間を大切にした設計



肺の病気で息苦しくなっている方々は、よく水の中にもぐっているようだ、と言われる。また、夜中に息が止まって息を吹き返す方々も同じように言われます。

病院の玄関はそんな方々を招く濃いブルーのタイルに囲まれた海の中、玄関に入ると、そこには空気に通じる明かりが燦々とした光の庭があります。

入院して治療が必要な方は、2階、3階の病室へ。



玄関



ダイルーム



展望浴室



ウッドデッキ



足立の山々を見渡せる病室

4階には呼吸のためのリハビリテーションセンターがあります。酸素が必要な場合や人工呼吸器が必要な方は、うまく使えるようになって、屋上のビオトープ庭園でリハビリを行い、住み慣れた家に戻っていきましょう。

また、3階は睡眠中に息が止まる方々や、睡眠中にいろいろな問題がある方々を検査する睡眠呼吸センターがあります。

4階ではダイエットのための運動療法も行っています。



きれいな空気を吸えるように、隣接するサンキュードラッグと共同して敷地内禁煙とさせていただいております。

## 呼吸器の専門病院として

かぜの後、咳や痰が長く続いたりすると心配ですね。当院では肺炎・気管支喘息・COPD（肺気腫）の治療だけでなく、肺癌の早期発見、肺癌のターミナルケア、長期人工呼吸管理への入院対応も行っております。また、在宅酸素療法の方は約100名通院されています。（2006年9月現在）

医療レベルを高く保つために、九州大学、産業医科大学、久留米大学の呼吸器の医師も診療に参加し、一人の医師によって診るという体制ではなく、多数の医師が診ることで、セカンドオピニオンなども受けられやすくなります。

日中の外来の患者さんへの対応だけでなく、夜間のぜんそく発作への対応、急な息切れなどに入院の施設があることが大きな安心につながります。



CT検査室

気管支鏡検査

## 呼吸リハビリテーション

呼吸リハビリを本邦でいち早く開始した歴史を背景に、患者さんおよび家族を対象に、運動療法だけでなく、禁煙指導、栄養指導を行っています。長崎大学医学部保健学科よりの理学療法士、医師、看護婦、呼吸療法士、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーを含む多領域からのチームでの包括的呼吸リハビリテーションを行っています。

6週間の入院呼吸リハビリプログラム、外来呼吸リハビリプログラムがあります。息切れに対するリハビリだけでなく、腰痛や麻痺がある方のリハビリも行っております。



呼吸リハビリ教室



息切れのストレスを改善します。

## 睡眠呼吸障害

いびきや無呼吸があると、昼間の眠気による事故だけではなく、高血圧（特に早朝）、心筋梗塞、脳梗塞の危険性が増します。これまでに3000例以上の終夜睡眠PSG検査を行い、約900名の方がCPAP治療のため通院されています。（2006年9月現在）

合併する高血圧、高脂血症、糖尿病、脂肪肝の治療、ダイエット・運動療法・栄養指導を並行して行っています。月に2回マウスピース（睡眠歯科）外来も行っております。

また、睡眠時無呼吸症候群だけではなく、睡眠全般に関するご相談、治療も行っています。



終夜睡眠PSG検査のための個室



ダイエットのための運動療法



栄養指導



CPAPの機械を実際に見えます。（睡眠時無呼吸の治療）



かかりつけの内科病院として



**地** 域の方々の健康を担うため、霧ヶ丘つだ病院は足立山、妙見山などの山々から大きなエネルギーをいただき、内科の専門病院としても活動しております。

ちょっとしたかぜ、胃腸の病気、高血圧や狭心症、糖尿病、高脂血症、肝臓病などもお任せください。

また、九州労災病院の医師の専門外来もご利用ください。



医療相談室



## 病院から在宅まで一貫したサポートを

**退**院後も医療保険・介護保険の仕組みを利用して、訪問看護やヘルパー、また、デイケアでのリハビリの継続により体力の低下をおこすことなく、在宅療養を行っていただけます。病気のことで不安だったり、酸素ボンベの残量が気になって遠くに出かけられない患者さんのバスハイクも企画しています。

また、介護疲れの際の入院などについてもご相談ください。

### デイケアほっとホーム霧ヶ丘



### ケアプラン



### 訪問看護・ヘルパー



### 患者会バスハイク



質の高い、やさしい医療を



スタッフは外来、入院から在宅まで一貫した医療を充実させ、安心と信頼を皆様に提供できるように、一人一人が目標を掲げ積極的な姿勢で取り組んでいます。

患者さんがその人らしい、その人の個別性にあった生活を獲得する過程を支えます。



チームで治療方針を話し合います。



医師、看護師、理学療法士、栄養士、MSWによるチーム回診

呼吸療法認定士 当院の資格習得者

- 看護師:5名
- 理学療法士:2名
- 訪問看護師:1名
- ケアマネージャー:1名

「呼吸療法の基礎を十分に理解し、人工呼吸器などの呼吸管理機器の保守、点検が行なえる」と認められた者。



病院食試食会



呼吸管理学会などで多数の発表を行っております。

